

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

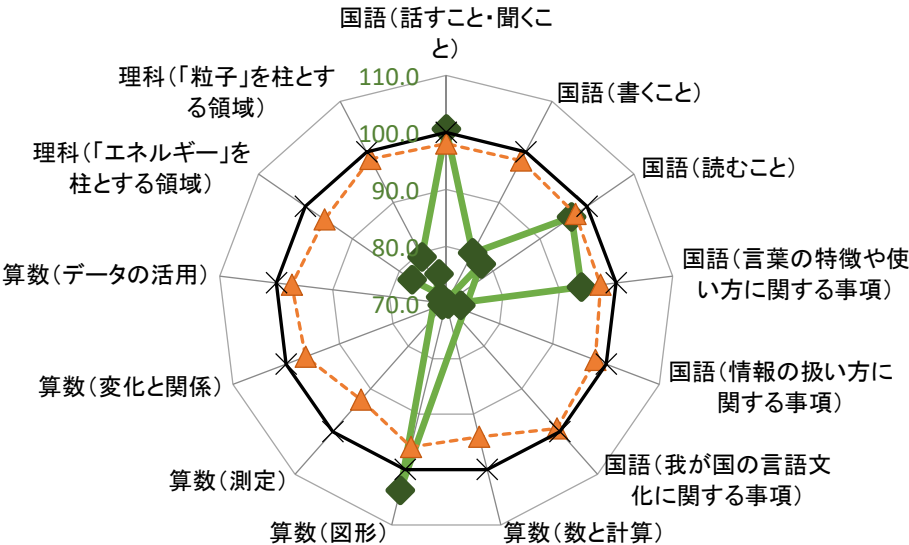
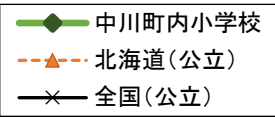
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

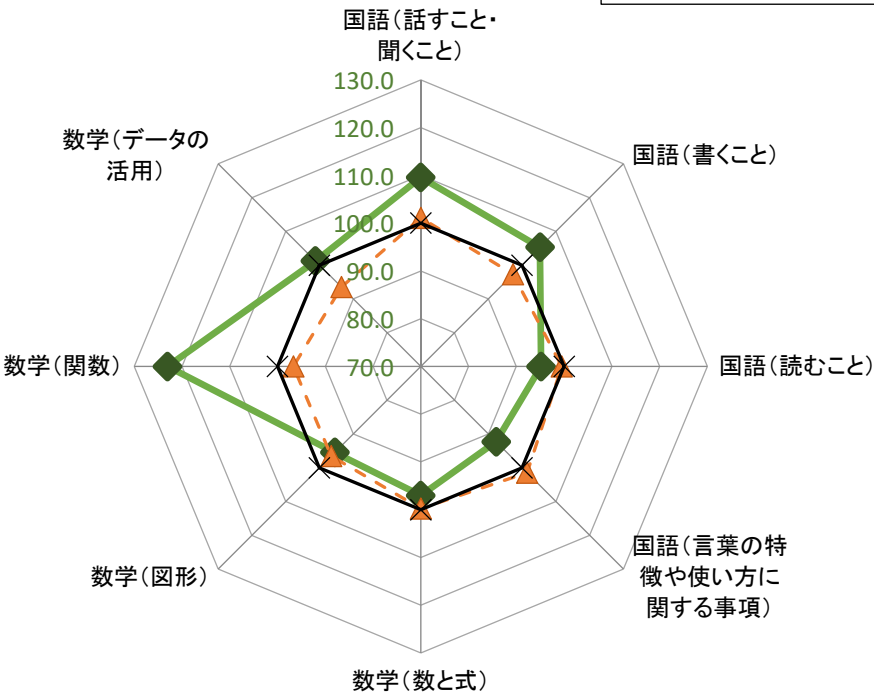
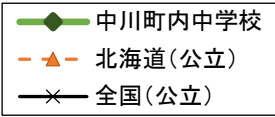
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
中川町	60	44	48	56	50	513
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



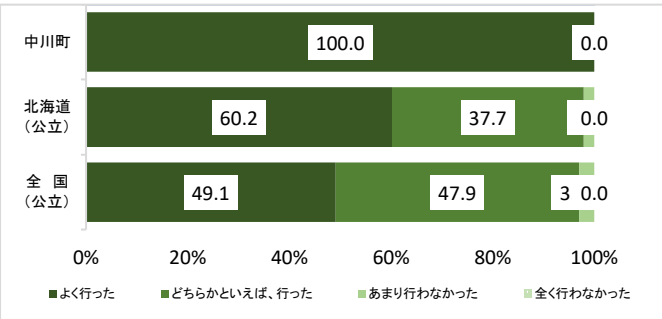
中学校



○ 質問調査の状況

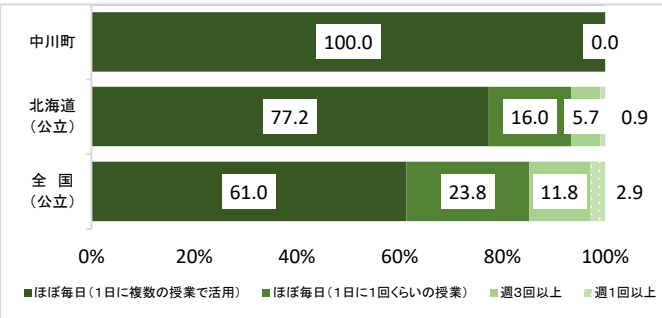
小学校
＜学校質問＞

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた児童に対する対応を行っていましたか



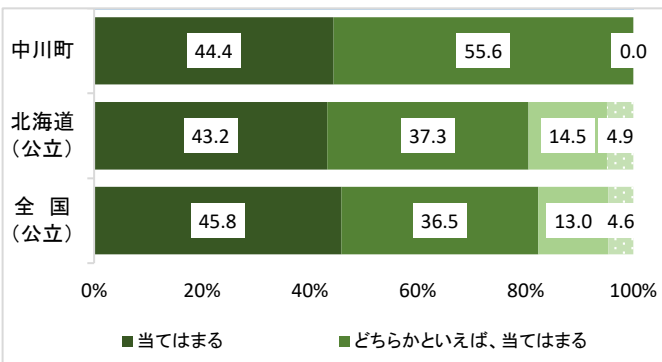
小学校
＜学校質問＞

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



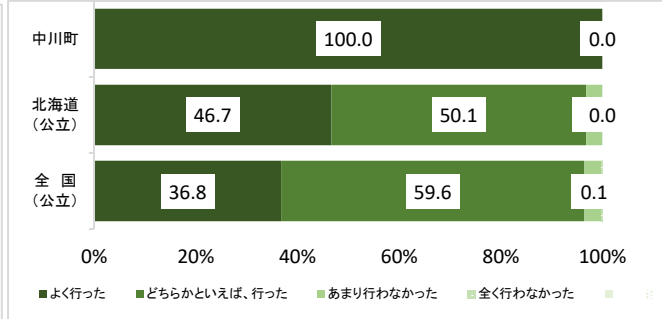
小学校
＜児童質問＞

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



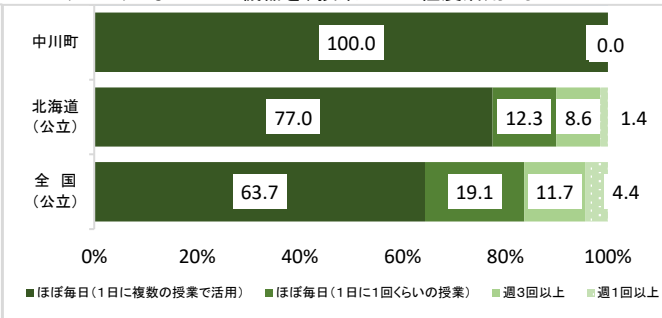
中学校
＜学校質問＞

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか



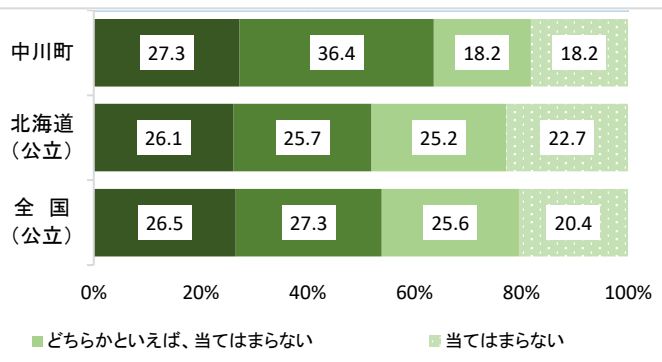
中学校
＜学校質問＞

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



中学校
＜生徒質問＞

数学の勉強は好きですか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、算数の授業で学習上つまずいた児童への対応をよく行ったことにより、問題の解き方がわからないときにあきらめずにいろいろな方法を考えることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、国語の授業で学習状況について改善の手立てを講じたことにより、話すこと・聞くこと、書くことの各正答率が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 令和7年度当初から使用を開始した新しい一人一台端末により、授業におけるICT機器の活用が進み、活用割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

○ 今後の改善方策

- 学習内容の確実な定着をねらいとする、朝・放課後サポート学習における補修や追試の実施
- ボランティアを活用した放課後学習支援「なかがわ塾」による基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組の充実
- 中川町学校教育情報化検討会議を中心とした、ICT端末の効果的な活用による授業の質的向上に向けた取組の推進